



# 小国人



令和6年10月11日(金)発行 第16号 文責：校長 横澤 聡一

## 最高の小国中大運動会！！

今年は、猛暑による熱中症予防の観点から、開催時期を8月末から10月5日(土)に大幅に変更しての開催。夏休み明け、各学年行事や新人大会等のある中、切り替えをうまくしながらこの日を迎えることができました。また、今年は、保護者の方々以外にも、祖父母の方々、地域の方々にもおいでいただき、生徒達の頑張っている姿を見ていただきました。

今年の運動会スローガン「勝time」のねらいどおり、一人一人が勝ちにこだわり、笑ったり、悔しい思いをしたりしながら、一生懸命組取り組む姿が見られ感動しました。小国中生一人一人が頑張り、一つの大きな小国中運動会のショータイムとして、私たち見る側に感動を与えてくれました。

また、組の垣根を越えて、小国中生としての絆が一層深まりました。

### 【応援合戦の様子】



### 【結果】

- ☆総合優勝 <青組>
- ☆総合準優勝 <赤組>
- ☆取り組み賞 <青組>
- ☆競技賞 <青組>
- ☆応援賞 <青組>

## 各組の熱戦の様子



《 組頭「誓いの言葉」 》



《 2年 タイフーン 》



《 1年 むかでりレー 》



《 3年 四人五脚りレー 》



《 団旗引き継ぎ、決意表明 》



《 全校団体 I 綱引き 》



《 全校団体 II まり入れ(地域参加型) 》

## 健康について考える

～がんを知り、がんを防ぎ、がんと向き合い、がんと共生していく～

本校では、今年度、県のがん教育推進校として、10月17日(木)に2年生の保健体育で、授業公開をすることになっています。事前学習として、8日(水)、講師に村山静香氏をお招きして、「がん」についてのお話をお聞きました。村山先生ご自身が、18年前に、血液のがんである白血病と診断され、190日間もの長期間入院されたこと、そして、その時の壮絶な闘病生活についてお話していただきました。死と隣り合わせでとてもつらい思いをしたこと、そして、いのちの大切さについて改めて考えさせられたことなど、私たちにとっても、「いのち」や「がん予防」、「健康」について深く考えるとても貴重な機会となりました。

